



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月13日

上場会社名 タカセ株式会社
 コード番号 9087 URL <https://www.takase.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大宮司 典夫

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 笹岡 幹男

TEL 03-3571-9497

四半期報告書提出予定日 2019年8月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	1,957	3.8	78	99.7	85	106.9	64	75.0
2019年3月期第1四半期	2,035	1.6	39		41		36	

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 61百万円 (133.8%) 2019年3月期第1四半期 26百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	64.61	
2019年3月期第1四半期	36.91	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	10,517	6,185	58.8	6,222.74
2019年3月期	10,590	6,173	58.3	6,211.24

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 6,185百万円 2019年3月期 6,173百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		50.00	50.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		0.00		50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,000	3.1	118	10.2	120	11.3	95	10.8	95.58
通期	8,000	2.5	270	2.4	270	2.2	210	1.8	211.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	1,054,513 株	2019年3月期	1,054,513 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	60,571 株	2019年3月期	60,571 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	993,942 株	2019年3月期1Q	993,976 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境の改善等を背景に緩やかな回復基調で推移いたしましたが、実質所得の伸び悩みが個人消費を抑制するとともに、米中貿易摩擦、英国のEU離脱問題、中国経済の減速等により、依然として先行きに不透明な状況が続いております。

このような経済情勢の中、物流業界におきましては、国内貨物は、個人消費は底堅く推移しましたが、設備投資等の減速の影響を受け、ほぼ横ばいとなりました。国際貨物は、海外経済の減速の動きもあり、輸出が減少するなど今後も注視すべき状況にあります。

当社の物流ビジネスのコアとなる国内貨物市場は、Eコマース市場の伸張をはじめとして多様化・高度化する物流ニーズへの対応、ドライバー不足や長時間労働問題への対応など、対処すべき課題は多く、取り巻く環境は引続き厳しいものとなっております。

こうした状況の中、当社グループは、「構造改善施策」を計画どおりに進めてきたことにより、筋肉質の経営体質へと変貌し、2019年度をあらたな変革へのスタート地点と位置付け、「3ヵ年中期経営計画」を策定し、将来への持続的な成長のための取組みを進めております。

当第1四半期連結累計期間におきましても、持続的成長軌道を確立すべく「3ヵ年中期経営計画」にもとづき、グループ各社がそれぞれの事業分野や地域において品質向上や営業強化を図ることで競争力を高め、物流技術や情報システムの強化により収益力の向上と期待利益の確保を図るという目標に沿い、さらなる業務拡大に向け注力いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、期初計画に対して営業収益は若干の下振れが見られるものの、利益面については、計画を上回る状況となりました。

具体的には、営業収益が、前年12月に取得した東名川崎倉庫にかかる賃料収入の積上げや輸入貨物取扱の増加があった一方で、メディア関連業務にかかる国内物流業務取扱および輸出貨物取扱の減少により、前年同期間と比較して、3.8%減の19億57百万円となりました。

利益面につきましては、運賃仕入コストや労務コストの継続した上昇が見られる中、業務改善による作業の効率化等により営業原価の削減が図られ、営業収益減少による影響を補えたことから、営業利益は前年同期間と比較して、99.7%増の78百万円となりました。また、経常利益は106.9%増の85百万円となり、さらに、親会社株主に帰属する四半期純利益は75.0%増の64百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

- A. 総合物流事業におきましては、輸入貨物取扱の増加があったものの、メディア関連業務にかかる国内物流業務取扱および輸出物流貨物取扱の減少により、営業収益が前年同期間と比較して3.4%減の19億27百万円となりました。一方で、営業総利益は、業務改善による作業の効率化を含め、営業原価の削減効果が見られたことから、前年同期間と比較して25.8%増の3億6百万円となりました。
- B. 運送事業におきましては、当事業が、総合物流事業に対する運送分野を担っております。営業収益は、既存取引の業務取扱が減少したことから、前年同期間と比較して11.7%減の87百万円となりました。また、営業総利益は、車両運行の効率化によるコスト削減に努めたものの、燃料費の上昇に加え、営業収益減少による影響が大きく、前年同期間と比較して48.8%減の7百万円となりました。
- C. 流通加工事業におきましては、当事業が、主に、総合物流事業に対する流通加工（倉庫内オペレーション）分野を担っております。一部顧客への派遣人員減少に加え、国内物流業務取扱の減少により、営業収益が前年同期間と比較して11.6%減の2億41百万円となりました。営業総利益は、コスト削減に向けた業務の効率化を図ったものの、営業収益減少による影響により、前年同期間と比較して16.4%減の18百万円となりました。

(注) 上記営業収益は、セグメント間取引消去前の金額で記載しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ72百万円(0.7%)減少し、105億17百万円となりました。

この主な要因は、現金及び預金が57百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が1億12百万円、減価償却により有形固定資産が48百万円減少したことによるものであります。

② 負債

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ84百万円(1.9%)減少し、43億32百万円となりました。

この主な要因は、短期借入金が1億45百万円増加した一方で、支払手形及び営業未払金が87百万円、未払法人税等が57百万円、長期借入金が72百万円減少したことによるものであります。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ11百万円(0.2%)増加し、61億85百万円となりました。

この主な要因は、利益剰余金が当第1四半期連結累計期間に親会社株主に帰属する四半期純利益64百万円を計上したほか、前連結会計年度の剰余金処分による期末配当金49百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間においては、業績が概ね予想どおりに推移しているため、2019年3月期決算短信(2019年5月14日付)で公表いたしました第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,321,021	2,378,679
受取手形及び売掛金	923,020	810,059
原材料及び貯蔵品	9,564	9,564
前払費用	16,586	35,433
未収法人税等	207	952
その他	182,929	198,984
貸倒引当金	△287	△171
流動資産合計	3,453,041	3,433,501
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,749,025	9,755,594
減価償却累計額	△6,589,686	△6,641,692
減損損失累計額	△59,204	△59,204
建物及び構築物(純額)	3,100,133	3,054,697
機械装置及び運搬具	1,925,188	1,920,867
減価償却累計額	△1,817,148	△1,813,658
減損損失累計額	△586	△586
機械装置及び運搬具(純額)	107,453	106,622
土地	2,382,526	2,382,526
その他	472,451	473,740
減価償却累計額	△411,040	△414,865
減損損失累計額	△2,764	△2,760
その他(純額)	58,646	56,114
有形固定資産合計	5,648,760	5,599,960
無形固定資産		
借地権	458,486	458,486
その他	72,156	79,347
無形固定資産合計	530,643	537,834
投資その他の資産		
投資有価証券	607,954	594,569
繰延税金資産	46,164	39,304
その他	311,263	319,050
貸倒引当金	△7,032	△6,246
投資その他の資産合計	958,350	946,677
固定資産合計	7,137,754	7,084,471
資産合計	10,590,795	10,517,973

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	435,471	347,521
短期借入金	425,000	570,000
1年内返済予定の長期借入金	405,000	405,000
未払費用	107,096	135,096
未払法人税等	74,351	16,995
賞与引当金	55,151	89,136
役員賞与引当金	6,000	175
その他	138,766	111,104
流動負債合計	1,646,838	1,675,029
固定負債		
長期借入金	2,135,000	2,063,000
役員退職慰労引当金	70,671	62,042
退職給付に係る負債	442,534	410,746
その他	122,141	122,112
固定負債合計	2,770,346	2,657,900
負債合計	4,417,185	4,332,929
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,133,280	2,133,280
資本剰余金	2,170,568	2,170,568
利益剰余金	1,917,666	1,932,184
自己株式	△159,858	△159,858
株主資本合計	6,061,657	6,076,175
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	70,575	61,286
為替換算調整勘定	41,376	47,581
その他の包括利益累計額合計	111,952	108,868
純資産合計	6,173,609	6,185,043
負債純資産合計	10,590,795	10,517,973

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
営業収益	2,035,784	1,957,962
営業原価	1,765,349	1,656,152
営業総利益	270,434	301,809
販売費及び一般管理費	231,200	223,448
営業利益	39,234	78,361
営業外収益		
受取利息	640	838
受取配当金	3,511	3,887
受取賃貸料	3,928	5,730
受取工事負担金	—	3,925
その他	4,509	3,019
営業外収益合計	12,589	17,401
営業外費用		
支払利息	9,172	9,746
支払補償費	1,237	136
その他	222	656
営業外費用合計	10,631	10,538
経常利益	41,191	85,224
特別利益		
固定資産売却益	4,390	339
特別利益合計	4,390	339
特別損失		
固定資産除売却損	1	562
保険解約損	1,630	—
特別損失合計	1,632	562
税金等調整前四半期純利益	43,950	85,001
法人税、住民税及び事業税	18,904	9,831
法人税等調整額	△11,639	10,955
法人税等合計	7,264	20,787
四半期純利益	36,685	64,214
親会社株主に帰属する四半期純利益	36,685	64,214

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	36,685	64,214
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,264	△9,289
為替換算調整勘定	△13,801	6,205
その他の包括利益合計	△10,536	△3,083
四半期包括利益	26,148	61,130
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	26,148	61,130

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

1. 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

①配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月28日 定時株主総会	普通株式	49,698	50.00	2018年3月31日	2018年6月29日	利益剰余金

②基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

2. 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

①配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月27日 定時株主総会	普通株式	49,697	50.00	2019年3月31日	2019年6月28日	利益剰余金

②基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

①報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計
	総合物流事業	運送事業	流通加工事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	2,001,710	12,579	13,692	2,027,982	7,801	2,035,784
セグメント間の内部営業収益または振替高	△5,114	86,660	258,836	340,383	20,780	361,164
計	1,996,596	99,240	272,529	2,368,366	28,582	2,396,948
セグメント利益	243,633	14,666	21,716	280,017	4,454	284,472

	調整額 (注)2	四半期連結損益計算書 計上額(注)3
営業収益		
外部顧客への営業収益	—	2,035,784
セグメント間の内部営業収益または振替高	△361,164	—
計	△361,164	2,035,784
セグメント利益	△14,037	270,434

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、警備保障事業等であります。
 2. セグメント利益の調整額△14,037千円は、セグメント間取引消去であります。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業総利益と調整をおこなっております。

②報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

2. 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

①報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	総合物流事業	運送事業	流通加工事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	1,937,028	9,483	3,715	1,950,226	7,735	1,957,962
セグメント間の内部営業収益または振替高	△9,225	78,113	237,319	306,206	19,309	325,516
計	1,927,802	87,596	241,034	2,256,433	27,045	2,283,479
セグメント利益	306,547	7,513	18,151	332,212	4,255	336,468

	調整額 (注) 2	四半期連結損益計算書 計上額(注) 3
営業収益		
外部顧客への営業収益	—	1,957,962
セグメント間の内部営業収益または振替高	△325,516	—
計	△325,516	1,957,962
セグメント利益	△34,658	301,809

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、警備保障事業等であります。
 2. セグメント利益の調整額△34,658千円は、セグメント間取引消去であります。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業総利益と調整をおこなっております。

②報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。